

情報公開文書

研究の名称	食道がん術前の栄養状態が術後の身体機能、運動耐容能に与える影響についての後方視的調査
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	リハビリテーション科 教授 服部 憲明
研究の概要	<p>【研究対象者】 2023年1月～2024年12月までにロボット支援下食道亜全摘、ロボット支援下胃管作成、胸骨後経路、頸部吻合、胃管瘻造設術を施行した症例</p> <p>【研究の目的・意義】 食道がんはがん死のうち6番目に死亡率の高い予後不良ながんである。経口摂取の低下に伴う低栄養、脱水、誤嚥による呼吸器系の感染症等が合併することがあり、低栄養のリスクとなる。また、術前に行う化学療法の副作用で、消化吸收機能障害や代謝障害を合併することがあり、術前に栄養障害を併発しやすい状況である。これにより、骨格筋量の低下を伴い身体機能や運動耐容能が低下する可能性があるが、合わせて調査し関連づけている報告はほとんどないため、食道がん術前の栄養状態が術後の運動耐容能および身体機能に与える影響を検討する。</p> <p>【研究の方法】 電子カルテ記録及び診療録に記載のある診療記録及び検査データより後方視的に上記項目情報を取得する。</p> <p>【研究期間】 実施許可日～ 2027年3月31日</p> <p>【利益相反の状況】 本研究において申告すべき利益相反はありません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 専門学会での発表や論文投稿など</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	各評価項目を診療録より後方視的かつ探索的に取得する。 年齢、性別、身長、体重、病期、術後合併症の有無、身体機能(握力、膝伸筋力、Short Physical Performance Battery(SPPB)、6分間歩行距離)、血清：血清アルブミン、総コレステロール、総リンパ球数リハビリテーション診療報酬情報(リハビリテーション処方日・診療報酬算定区分・リハビリテーション実施総単位数)、
研究に用いる情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究代表機関における研究責任者の所属・氏名)	リハビリテーション科 教授 服部 憲明
研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7850 E-mail ptfukuda@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 リハビリテーション部 福田 紗恵子